

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-01-05
事務事業名	私立保育園運営費補助事業		
事業開始年度	S49-		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	こども課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	こども福祉係長 藤田 政宣
小項目 施策	子育て支援	電話	0869-64-1825

事業の実施	対象(誰・何に対して)	私立保育園・新築、増改築、災害復旧、大規模改修を行った場合。 ・職員の給与改善等に要する経費、定員減により著しく運営に支障をきたし経営困難な場合が生じた場合。
	目的(何のために)	私立保育園の保育内容の充実向上等を図り、児童福祉の増進に寄与するため。
	行政活動(どのような方法で)	施設整備費及び運営費に係る補助を行う。
	事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	園児数の減少によって私立保育園の経営状況に与える影響を抑制し、事業目的が達成できるようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	整備件数	件	0	0	0
	年間平均入所者数	人	13	12	11
	事業費	千円	1,667	3,524	1,979
	事業費計	千円	1,667	3,524	1,979
	財源	千円			3
	国県支出金				
	受益者負担				
	一般財源		1,667	3,524	1,976
	必要人員	人	0.10	0.06	0.00
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	整備件数	説明	保育環境を改善するため行った施設整備費補助の実績		
	結果指標量	件	0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	年間平均入所者数	説明	園児を確保し経営を安定させる		
	結果指標量	人	13	12	11
対前年比	%	-	92.3%	91.7%	
活動コスト	円	1,667,000	3,524,185	1,978,710	
対前年比	%	-	213.682%	118.083%	
活動コスト	円	1,282,311	2,933,682	1,793,883	
対前年比	%	-	228.682%	139.883%	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	入園児数	式又は説明	入園児を確保することで、運営に必要な収入(措置費)を得る。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	13人	12人	11人
対前年比		92.30%	91.70%
到達目標値	20人	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価 <A-E> C 課題認識	
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	公立保育園のない地区で就学前の乳幼児をもつ住民にとっては必要な事業であるが、園児数は減少傾向にあり経営は困難になりつつあるため、市への依存度が高くなっている。	
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		効率性評価 <A-E> C 課題認識
	手	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		適正な経営に必要な園児を確保するとともに保育料の見直し等を考える必要がある。
	場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		有効性評価 <A-E> C 課題認識
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	公立保育園との格差を是正し、保育内容を充実させることができる。		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			
有効性の評価				

平成20年度の状況		説明	実績により補助する予定である
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 0件 成果指標量 20人	結果指標量	20人

総合評価		評価区分 <A-E> C	
厳しい経営状態が続く市への依存度も高くなっているが、公私の格差を是正するため、事業は継続する必要がある。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
--------------	--	---	--

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	保育園児の確保	長期	健全な経営による保育内容の充実